

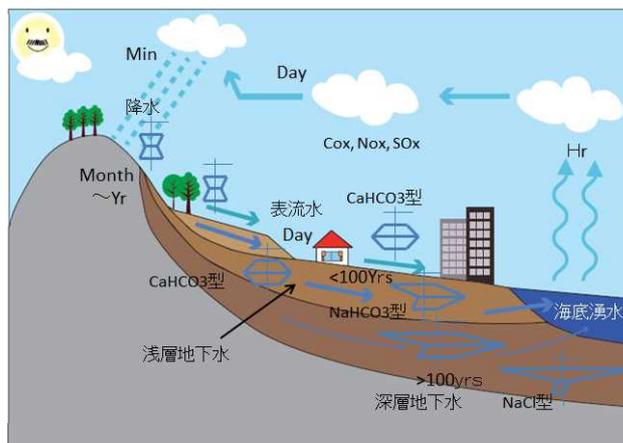
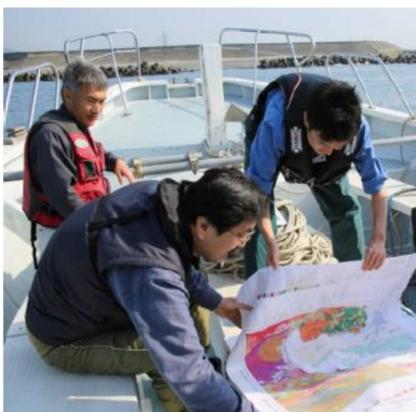
○出前講演報告（於：静岡県給水衛生検査協議会）

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

丸井 敦尚

当該出前講演は、静岡県給水衛生検査協議会からの依頼で、2015年11月4日、静岡駅に程近いペガサートの6階にある静岡市産学交流センターを会場として、約70名の参加者（静岡県内の水道事業体、企業局および水質分析機関職員）を集め、「平成27年度 静岡県給水衛生検査協議会 研修会」として実施されました。今回の出前講演は、同協会より日本及び静岡県の地下水に係る情報（地下水の種類、流れのしくみ、地下水を飲用に採用するにあたってのメリット、デメリット等）について講演してほしいとの依頼を受け、丸井敦尚が講演いたしました。演者は、静岡県地下水利用協議会有識者会議委員のほか、同県地下水熱エネルギー利用普及促進協議会委員、同県土壌汚染・環境保護委員会委員、環境衛生科学研究所・有識者および共同研究者を兼任しており、駿河湾における深部地下水研究、富士山地域の水文環境図の作成、さらに過去には富士山世界遺産登録記念DVDに主演（NHKエンタープライズ）するなど、当該地域との関連が深いものでした。

講演は、「静岡県の自然・社会環境と水循環について」と題して行われ、水循環基本法ならびに同計画の解説から始まり、静岡県地下水賦存量調査の成果報告や水文環境図の成果を用いた当該地域の地下水流動系の解説、駿河湾の海底湧出地下水の紹介やこれに係る海況回復、地球環境変動予測を基にしたこれからの地下水利用など地域の自然環境に関わる説明を中心に1時間を越える講演をしました。講演のあとには、参加者からの質問コーナーが設けられており、意見交換も含めて活発かつ有意義な時間を過ごすことができました。さらには、講演後も参加者からは多くのメールが寄せられ、地下水に関する地域の関心の高さを感じつとともに、好評のうちに出前講演を収めることができました。



写真は駿河湾調査の様子と水の大循環の概念（いずれも講演会で使用）